

**事業内容：防災に関する指導方法等の開発・普及等のための支援事業  
学校防災アドバイザー活用事業の実施**

**題名：防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業  
(命の大切さを考える防災教育公開事業)  
(防災ボランティア)**

**所属・電話番号：千葉県立旭農業高等学校・0479-62-0129  
校長 鈴木 智**

**1 実施事業**

- (1) 防災に関する指導方法等の開発・普及等のための支援事業の実施
- (2) 学校防災アドバイザー活用事業の実施

**2 事業概要**

本事業を通じて災害への備えや、災害発生後の復興における生徒の共助の在り方を確立し、防災ボランティア精神を養う。本校の所在する旭市の行政機関、地区自治会と連携し、防災訓練を実施するとともに、学校における防災教育を公開する。

**3 実施概要**

実施時期	計画事項	参加者
4月	○特別委員会	担当職員
	○緊急連絡網整備	本校職員
	○危機管理対応マニュアル確認	本校職員
5月	○美化委員会(備蓄品について)	担当職員 担当生徒
	○第1回避難訓練	本校職員 生徒
6月	○救命講習	本校職員 生徒 消防署
	○降下訓練	本校職員 生徒
8月	○備蓄品点検(美化委員会)	担当職員 担当生徒
9月	○第2回避難訓練(ワポイント訓練)	本校職員 生徒
10月	○防災講演会	本校職員 生徒
	○担当者連絡会議	担当職員 PTA
	○復興支援事業(新米配布)	担当職員 担当生徒
11月	○特別委員会	担当職員
	○地域合同防災訓練、公開LHR	教職員 生徒 地域住民 保護者
12月	○担当者連絡会議	担当職員
	○東日本大震災写真展(文化祭)	担当職員 担当生徒
	○事業反省・評価	生徒
	○非常食学習	担当職員 3年生徒

#### 4 担当者連絡会議

	氏名	所属及び役職
1	宮内 輝久	教育庁教育振興部学校安全保健課指導主事
2	江戸 義尚	旭市役所総務課
3	来栖 成実	旭市消防本部警防課
4	藤本 一雄	千葉科学大学教授
5	鈴木 智	旭農業高等学校校長
6	笹本 浩泰	旭農業高等学校事務長
7	菊屋 泰男	千葉県立旭農業高等学校 教頭
8	中川 さや夏	千葉県立旭農業高等学校 教諭

#### 5 具体的な取組

##### (1) 特別委員会

4月3日（金）防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業（命の大切さを考える防災教育公開事業）事業計画説明をした。

10月19日（月）地域合同防災訓練及び公開LHR実施要項について検討した。

##### (2) 職員会議

4月20日（月）職員会議において、職員緊急連絡網及び危機管理対応マニュアルを確認した。

##### (3) 美化委員会

4月21日（火）本校は防災専属の委員会がないので、美化委員会において今年度の非常災害時の備蓄品点検や緊急時配布について担当職員から生徒に説明した。

8月6日（木）非常災害時の備蓄品一覧を見ながら生徒用備品（ランタン、

ライト、スペースブランケット、保管庫）と生徒・職員用消耗品（食料、水）の点検・確認を実施した。



##### (4) 地震避難訓練

5月8日（金）全校生徒が教室で一次避難の後、グラウンドへ二次避難。防火管理者から講評の後、担当職員がバッグやリュックまた買物カゴを利用した頭、首の保護について指導した。また、ボランティア活動の啓発のため、本校の東日本大震災以降のボランティア活動について説明した。

9月1日（火）緊急地震速報を活用し生き抜くためのワンポイント訓練を行った。その場で適切な判断をし、自分の命を守ったら、次は他人の命を守るための周囲への声かけを実施した。



#### (5) 救命講習

6月4日（木）DVD視聴後、旭市消防署職員による心肺蘇生とAEDの使用手順を実演を見学した。その後、各学年代表生徒が消防署職員から実技指導を受けた。さらに気道異物の除去法の、腹部突き上げ法、背部叩打法の実演を見学した。最後に全校生徒に本校のAED設置場所を周知させた。



#### (6) 降下訓練

7月10日（金）救助袋による訓練を防災技術センター指導の下、1年生は垂直式、2年生は斜降式を実施した。クラス会長、副会長が先頭で降下し、着地点でクラス補助にあたらせた。クラス順番がくるまでは階下で見学させた。



#### (7) 防災講演会

10月8日（木）学校防災アドバイザーの千葉科学大学教授藤本一雄先生から本校の課題である「防災ボランティア」そして「学校全計画」、「危険等発生時対処要領（災害安全）」についてご講演をいただき、それぞれのポイントにつ

いてアドバイスを頂いた。



#### (8) 担当者連絡会議

10月9日（金）第1回は事業計画の全体、学校安全、災害安全について説明した。

11月5日（木）第2回は全体会とともに反省・評価及び、今後の課題を協議した。



#### (9) 新米配布

10月14日（水）農業高校の特色を生かしたボランティア活動を、組織的に継続して実施するという理念から、生徒会役員と担当職員が、旭市の災害公営住宅に出向き、本校で10月に収穫したコシヒカリ1kgを32世帯に配布した。



#### (10) 合同防災訓練及びLHR

11月5日（木）生徒、教職員、地域

住民、保護者が津波対応の訓練を行った。訓練後各クラスで「津波災害と防災ボランティア」についてLHRを行った。終了後、全体会で千葉科学大学教授藤本一雄先生から災害アドバイスをいただいた。



#### (11) 東日本大震災写真展

11月21日（土）本校文化祭において、県及び旭市から借用した写真を展示した。生徒、教職員をはじめ、多くの来場者があった。



#### (12) 反省・評価

12月14日（月）全校生徒に本事業のまとめの自助、共助に関わるアンケート調査を行った。

#### (13) 非常食学習

12月18日（金）3年生で災害発生後の救助や救援物資の到着まで、自力で生活できる準備として、「非常持ち出し品」と「備蓄品」について考えさせた。命を守るため、非常食について必要な備えを充実させ、備える段階から考えて行動する姿勢を養った。

### 6 成果と今後の課題

今回の事業を通して生徒に様々な形の防災教育を実施した。特に東日本大震災以降の本校での取組が理解できた。

ボランティアは「自らの意思ですずんで喜んでやるもの」であり、本事業を通して関係機関、地域、保護者、教職員、生徒が理解を深めながら平常時の防災ボランティアを考え、深化させる一助になったことは間違いない。

旭市内には防災資料館をはじめ防災に関わる様々な施設・設備がある。今後はグループで有効に利用する身近な防災教育を推進していく。

